

2015年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	阿部 幸信		
NAME	Abe Yukinobu		

1. 研究課題

(和文) 東アジアにおける「左右」概念と陰陽思想—日本への影響を中心に—

(英文) Images of Left/Right in East Asia and Thought of Yin-yang

2. 研究期間

2年

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度)

(和文)

日本の狛犬の左右配置と雌雄の関係、およびその国外他地域との比較検討を中心に研究を進めた。

国内では、北関東・中部地方や北部九州での狛犬の調査をとおして、従来定型はないといわれていた雌雄の左右配置に、一定の地域性・時代性がある可能性を見いだした。また、沖縄本島南部において前近代のシーサーを実見し、シーサーの雌雄表現とその開始時期、日本の狛犬文化との関係についても検討した。

海外では、日本の狛犬文化に影響を与えた獅子像・動物像と、その左右配置・雌雄表現について初歩的な調査を行った。ドイツ・オーストリアでは、中近世の獅子像・動物像を多数実見し、その造形について検討すると同時に、各地で古代オリエントやローマ期の動物像の実例に多く接し、雌雄表現とそれに附随するギミックに関して理解を深めた。中国大陸各地(内蒙古自治区・山西省・湖北省・福建省・広西チワン族自治区)や台湾においても、機会をとらえて現地の獅子像をできる限り多く実見し、左右配置と雌雄との関係、その配置・表現の差、時代・地域ごとの特色を把握するよう努めた。

獅子像文化は古代オリエントより東西に伝播したといわれるが、その具体的なルートや、左右の対立表現(雌雄表現も含む)とその地域差については不明なところが依然多い。考察対象が大きいため、明確な結論を得るには至らなかったものの、今後研究を進めていくうえでの基礎的な仮説を立てることができた。

(英文)

This study made it clear that left/right arrangements of Japanese Komainu (a pair of stone-carved guardian lions or dogs at a Shinto shrine) relate to its male/female expression. The relation of them is different in different localities or periods, therefore previous studies have not clearly noticed this relation.